

## 令和6年度 福祉工学 第4回レポート（11/28（木）実施）

[番号] 45 [氏名] 山口 惺司 [得点]

---

**【問題】（10点）**

福祉工学の分野において、現状のバリアや問題点を克服するために工学技術を応用した具体的なシステムを提案し、その概要を説明せよ。

**● 提案するシステムの名称**

渋滞緩和ナビゲーションシステム

**● 背景（現状の問題点等）**

交通渋滞の原因として、1つの道をたくさんの車が通ることによる渋滞や、事故による渋滞がある。

**● システムの目的**

渋滞を回避するのではなく、全体の交通量などを見て、渋滞を緩和する。

**● システムの概説**

1つ1つの車のGPSをリアルタイムに取得し、交通量などを計算する。

取得した情報を元に、AI、ナビ機能を用いて車を誘導、分散させ渋滞を緩和する。

**● 技術的な特徴と期待される効果**

渋滞を緩和することで、車での移動時間を平均的に短縮できる。